

ふじやく

2016.05 NO.1

一般社団法人 藤沢市薬剤師会

〒251-0052 藤沢市藤沢 921
事務局 TEL.0466-22-8664
FAX.0466-23-5898

『藤沢市薬剤師会広報紙』地域の皆さんの健康のためにさまざまな活動をしている藤沢市薬剤師会から、健やかな毎日をつくるために、ちょっと役立つお話をお届けしています。

TOPICS

ご存知ですか? 5月31日は“世界禁煙デー”です。

喫煙が健康に与える影響は大きい上、受動喫煙の危険性やニコチンの依存性を踏まえると、喫煙習慣は個人の嗜好にとどまらない健康問題となっています。

世界保健機構(WHO)は、昭和45年にたばこ対策に関する初めての世界保健総会決議を行い、平成元年には5月31日を「世界禁煙デー」と定め、喫煙しないことが一般的な社会習慣になることを目指した、「たばこか健康かに関する活動計画」を開始しました。

毎年、藤沢市薬剤師会では、「世界禁煙デー」に合わせて、市内に通う小学生を対象に、禁煙を啓発する「禁煙ポスター」の募集を行っています。

今年は、佐藤澤未来さん(長後小学校3年)の作品が最優秀賞に選ばれました。

佐藤澤さんの作品は、“みんなで止めればこわくない 広げよう禁煙の輪”というメッセージが強く印象的で、一人では禁煙できる自信がなくても、みんなががんばればきっと大丈夫!お互いにはげましあって助け合えば、禁煙

の輪がどんどん大きく広がっていくという、佐藤澤さんの『やさしさ』『思いやり』の心が伝わってきました。



応募作品につきましては5月27日～6月1日まで藤沢駅北口地下展示場(サンパール展示場)に展示いたします

藤沢市で働く薬剤師さんに聞いてみました!!

こちらのコーナーでは、藤沢市で働く薬剤師さんにインタビューを行い、薬剤師の仕事内容など、市民の皆様に向けて自由に発信していこうと思っています。記念すべき第1回は、藤沢市薬剤師会会長にお願いしました。

Q1. 何で、薬剤師になろうと思ったのですか?

A 父の代から家が薬局だったということが、一番の理由です。家族はもちろんご近所の人や地域のお客様から可愛がられ、愛情をたくさん受けて育つうちに、「将来、自分は薬剤師になるのだなぁ」と漠然とした使命感みたいなものは芽生えていたと思います。親の背中を見ていると、地域に根付いた仕事の素晴らしさを教えられた気がします。よく親が言っていました、「こんなにたくさんの”ありがとう”を頂ける仕事はないよ」という言葉は今でも心に

残っています。地域の方々から受けた愛情を、薬剤師の職能を生かして、これからも還元していきたいと思っています。

Q2. 藤沢市民にとって、薬局や薬剤師はどうあるべきだと思いますか?

A 患者さんの苦痛や不安を共有でき、何でも気軽に相談できる存在でありたいと思っています。それに応えるためには、常に誠実に業務を行い、日々自己研鑽に努めることだと感じています。

また、身近な健康相談所としての機能をもっている薬局であるだけでなく、危険ドラッグや喫煙、薬の使い方など子供から大人までを対象に啓発活動を行い、市民の健康を守っていく必要があると思っています。



三栄薬局本鶴沼駅前店
齊藤 祐一 氏

かかりつけ薬局 と かかりつけ薬剤師

あなたの「かかりつけ薬局」はありますか？かかりつけ薬局の必要性を知っている方は多いかと思いますが、「かかりつけ」の病院と同じように、薬局も「かかりつけ」を作ることが推奨されています。かかりつけ薬局を作ること、飲んでいる薬を一元管理してもらい、薬の重複や飲み合わせなどによる副作用を未然に防ぐことができます。

しかし、多くの方は、病院や診療所の近くの薬局へ足を運ぶことが多いのではないのでしょうか？

ここでは、藤沢市におけるかかりつけ薬局「おくすり相談薬局」についてお話しします。

おくすり相談薬局とは、藤沢市民にとっての身近な医療提供施設としてのかかりつけ薬局です。適切な OTC 薬の販売、受診勧奨、保険調剤、正しい医薬品に対する

知識の啓発、在宅における服薬管理・支援などに対応し市民の健康を生涯通してサポートする薬局が「おくすり相談薬局」です。

昨今、薬が簡単に手に入る世の中になりました。コンビニやインターネットなどで、専門家の厳格な管理がなされないまま購入することも可能な場合があります。

「そうやって買った薬は本当に安全だと思いますか？」
自分にとっての「おくすり相談薬局（かかりつけ薬局）」を作り、そこで自分の健康と一緒に管理してくれる薬剤師さん（かかりつけ薬剤師）を見つけてみましょう！！




おくすり手帳をもっと活用しましょう!!



おくすり手帳をもっと活用してみませんか？藤沢市薬剤師会では、人気の「江ノ電」おくすり手帳に『ピクトグラム』を貼れる箇所を追加しました。ピクトグラムって聞いてもピンと来ないですよ。ピクトグラムとは、一般に「絵文字」「絵単語」などと呼ばれ、何らかの情報や注意を示すために表示される視覚記号（サイン）の一つです。

ピクトグラムの種類は9種類（下図）を用意しています。薬の飲み合わせだけでなく、胃カメラなどの検査や、歯医者さんで処置をする時など、服用している薬の情報を共有することは非常に大切です。ピクトグラムをおくすり手帳の表紙に貼ることで、すべての医療従事者が一目でリスク管理ができるようになっていきます。是非ともご活用して頂ければと思います。ご相談は、かかりつけの「おくすり相談薬局」でお願いいたします。

 **ジェネリック希望**



ブラウンバッグ運動とは？

ブラウンバッグ運動とは、薬局薬剤師が中心となって、患者さんが日常的に服用している処方薬、OTC薬、サプリメントなどの副作用や相互作用などの問題をチェックするための活動です。1990年代にアメリカで、茶色の紙袋に薬を入れて薬局に持ってくるように働きかけたことから「ブラウンバッグ運動」と名付けられました。

皆様も日常的に服用している薬や健康食品をチェックしてもらってはいかかでしょうか？薬の飲み残し（残薬）の管理もかかりつけの「おくすり相談薬局」が相談に乗ってくれます。一度、薬剤師に相談してみてください。



藤沢市版ブラウンバッグ
『活薬(かつやく)バッグ』



一般用医薬品 ご相談ください

安全・安心なお薬の相談・購入とセルフメディケーションのお手伝いは、この「お薬相談薬局」の表示のあるお店で。

薬剤師はすべての医薬品の専門家です。

お問い合わせ ☎0466228664